

『 実務の問題の改善・管理 』

～ QCD 確保の為の改善・管理技法の習得 ～

[公開研修、社内研修、ご希望の場所に出講します]



■受注の変化～生産内容の変化 → 問題増加！

会社では受注の多品種小量化・短納期化・短命化や新技術・生産方法の変化等により、生産方法や手順の変化が生じて不良や間違い、ロス等の問題増加傾向がみられます。

QCD: 品質・コスト・納期で お困りの場合…改善～管理の充実！

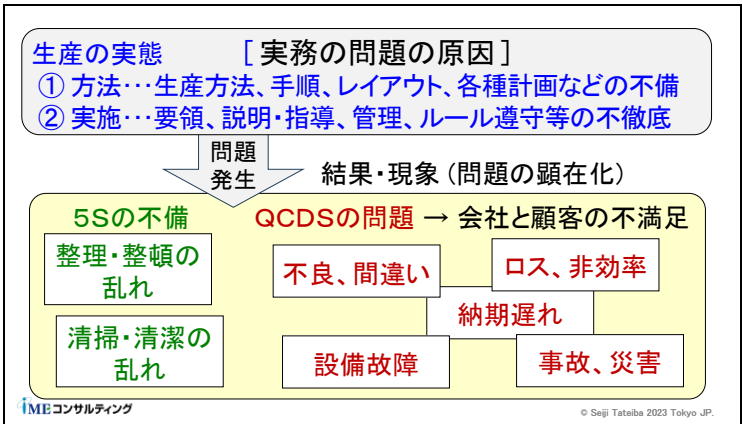
実務で発生する問題の内、顧客満足や会社の売上/利益にかかわるものには、Q 不良、クレーム、C ロス、効率低下、原価オーバー、D 納期遅れ等があり、早急に原因・要因を取除く是正・予防処置をすべきです。

■「①方法の問題」と「②実施の問題」が原因

不良やロスの原因には、生産方法の問題と実務の実施の問題があります。

①方法の問題 = 生産方法や仕事の仕組み、レイアウト、基準・手順等のルール設定等の問題

②実施の問題 = 実施要領、ルール遵守の問題、上位者による指示・説明・指導、OJT、管理等の問題

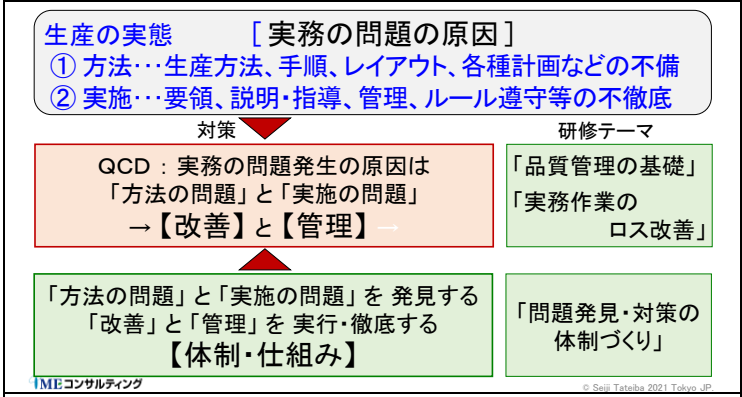


■対策は「改善」と「管理」の充実

「方法の改善」不良等は QC 技法等を使い問題発見し原因を改善します。

ロスや効率低下などの問題は、IE技法等で問題を発見し原因・要因の改善を行います。

「実施の管理」改善後は計画・手順の説明・指導を行い、実施状況を管理します。



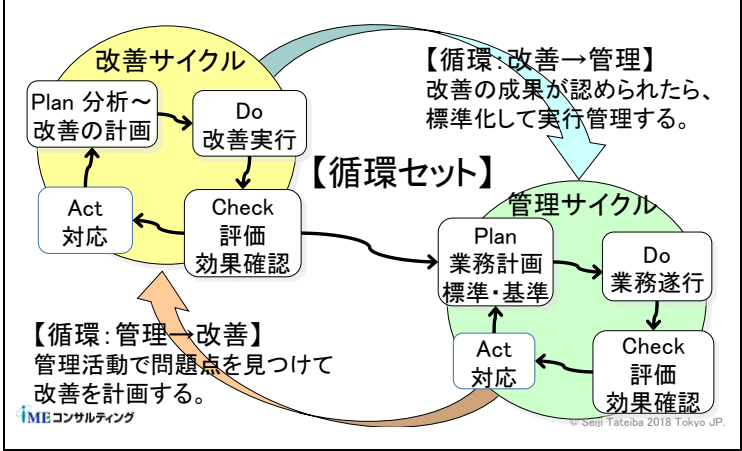
■改善と管理の循環「体制・仕組み」

「改善体制」実施と管理で発見した問題の対応権限、対応方法、報連相を行う権限・ルールと改善考案・実行の体制が必要です。

「管理体制」生産活動の指示・管理を行う組織体制と運用ルールが必要です。

管理(問題発見)→ 改善→ 管理(問題発見)→ 改善…循環が必要です。

改善と管理は、循環セットです



QCD : 実務の問題発生の原因は、「方法の問題」と「実施の問題」 対策 → 方法の「改善」と 実施の「管理」の循環

研修では、顧客満足を得て利益をあげ続ける為の問題発見、改善、管理について学習します。

■研修のねらい

[公開研修、社内研修、ご希望の場所に出講します]

この研修では、品質、コスト等の問題～原因発見方法とその改善、管理について学んでいただきます。その上で自社の対策について検討出来るように構成しております。

■研修名と内容

「問題発見・対策の体制づくり」(生産実務の管理体系～目で見える管理、指導・教育・管理)

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
責任者層 (部長、工場長等) 管理層 生産管理 生産技術 実務リーダー 改善担当者	実務での問題・エラーのほとんどは、ルール・決め事からの違反・逸脱により発生します。そのため、適切な指示・管理活動を行えば防げるものが多いです。 本研修では問題の未然防止と発見～対策を行う為の管理体系について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●工場の実務管理の基礎 生産実務の管理の仕組み 目で見える管理と5Sの考え方 ●QCDの改善と管理 [Q]顧客満足、品質確保 [CD]作業のロス発見と改善 ●工場業務の考え方 エラー、失敗発生要因の発見と対策 実務者の心掛け、管理者の管理活動 受注・生産形態と人材育成 ●生産体制の自社診断 自社の問題発見・対策の体制づくり 	短縮版 1day 通常版 2days 短縮版はカリキュラムの項目を削除するか内容を薄くして短縮します (1day=6h)

「品質管理の基礎」

(QC 七つ道具、管理・改善の要領)

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
管理層 生産管理 生産技術 実務リーダー 改善担当者	この研修では QC の考え方を学び品質向上を図ります。品質問題は QC 手法を使って対策する事が早道です。QC七つ道具は、問題発見とデータ処理のツールで、積極的利用応用は機械化・自動化にも寄与します。 不良は原価の問題ですが、検査で見つからなければ誤品と同様クレームのもとです。精度や出来栄へのばらつきは小さい方が喜ばれます。	<ul style="list-style-type: none"> ●品質の考え方、QC手法の理解 問題発見と対応 (QC七つ道具) ●品質改善活動 (ムツドロ対策) 改善考案・評価・実施・標準化 機械化・自動化と品質管理 ●品質管理の仕組み 品質管理の考え方 計画の実行と管理の準備 ●品質管理活動 (パフォーマンスロス対策) 実務者の品質活動 管理者の品質管理 ●品質管理体制の「自社診断」 【演習】 QC七つ道具ケーススタディ 【自社演習】 品質向上の仕組み作り検討 	短縮版 1day 通常版 2days (通常版=公開研修) 短縮版は、通常版(Full Spec)のカリキュラムの項目、内容、演習をカットするなどの処置をして短くします (ご相談によります) (1day=6h)

「実務作業のロス改善」

(IE改善技法の習得と実施効率管理によるコストダウン活動)

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
管理層 生産管理 生産技術 実務リーダー 改善担当者	IE(生産工学)は、生産性向上のためのロス分析と対策の体系です。 IEの考え方を理解し、ロスを見つけて改善し管理する方法を学びます。 (5Sの為のレイアウト改善などにも利用できます)	<ul style="list-style-type: none"> ●IEの考え方と技法 稼働分析と時間研究 IEのロス分析技法 (工程・動作分析、動線分析、連合作業・バランス分析等) ●改善の考え方 (ムツドロ対策) ●実施効率の管理 (パフォーマンスロス対策) 【演習】 IE技法の理解と改善と管理体制考案のケーススタディ 	短縮版 1day 通常版 2days (通常版=公開研修) 短縮版は通常版から内容・演習等をカットします (1day=6h)

◆実務の問題のほとんどは管理の不備により発生するので、改善と共に管理の充実が求められます。

<p>株式会社 IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田</p>	HP : http://www.ime-net.com 活動情報 : 「 Facebook 」 : 「 X 」 【お問合せ】
---	--